

令和 8 年度

まちづくり懇談会実施結果報告書（城東地区）

宇都宮市総合政策部広報広聴課

令和8年度 まちづくり懇談会《城東地区》実施結果報告書

この実施結果報告書は、まちづくり懇談会《城東地区》における発言の要旨をまとめたものです。

- 1 開催日時 令和8年7月31日（金）午後6時00分～（1時間程度）
- 2 開催場所 城東地域コミュニティセンター
- 3 参加者数 26人（市出席者除く）
- 4 市出席者 市長，総合政策部長，広報官，総合政策部次長，地域まちづくり担当副参事，東市民活動センター所長，
広報広聴課長，高齢福祉課長

5 懇談内容

（1）地域代表あいさつ 城東地区まちづくり協議会 会長

（2）市長あいさつ・市の取組紹介

（3）地域意見

No.	テ ー マ	所管課
1	ごみステーションにおけるダストボックスの補助金制度新設について	ごみ減量課
2	奈坪川平松町分水堰における水害対策について	農業企画課，河川課
3	タクシーでの totora カード利用について	高齢福祉課

4	J R の線路東側の教育環境の整備について	教育企画課
5	国道 4 号線の歩道橋について	技術監理課
6	特別養護老人ホームの役割について	高齢福祉課

(4) 当日意見等

No.	要 望	所管課
1	学生の勉強スペースについて	N C C 推進課，生涯学習課，子ども政策課
2	上下水道や公共施設の維持管理について	水道施設管理センター，下水道管理課， 学校管理課，政策審議室
3	石井街道・東町のアンダーパスについて	技術監理課，道路建設課
4	給付金について	政策審議室，商工振興課

(5) 市長謝辞

まちづくり懇談会（城東地区）における意見及び回答の要旨

開催日時：令和８年７月３１日（金）午後６時００分～

場所：城東地域コミュニティセンター

参加者数：２６名

◇地域意見

No.	意見の概要	回答の概要
1	ごみステーションにおけるダストボックスの補助金制度新設について - ごみステーションに蓋のあるダストボックスを設置しないと、カラスや小動物に荒らされてしまう。それに気付いた人やごみステーションが家の前にある人など、限られた人が掃除している。 - 宇大西自治会では折り畳み式ダストボックス導入したが、劣化してきており、修繕や買い替えの必要が出てきた。購入費用は１台５万円を超える。自治会費から出費するには負担が大きいと感じることから、折り畳み式ダストボックス修繕・購入に係る補助金制度の新設を求める。	【市長】 - 折りたたみボックスについては、道路への設置は通行の妨げになる場合もあることから、地域によって設置できる所とできない所がある。ネットを使うしかない地域もあり、折りたたみボックス購入に係る補助金を設定できない。 - 一方で、「協働の地域づくり支援事業補助金」を活用して、自治会等の費用負担なしに安価な材料で折りたたみボックスを作成することができるようにしている。 - 作り方は市ホームページやリサイクル推進員の研修会等で周知しているほか、動画でも紹介している。 - 折りたたみボックスを設置できる地域については、「協働の地域づくり支援事業補助金」をぜひ御活用いただきたい。 - 希望に沿って、職員を派遣し、作成について御説明させていただく。 （所管課：ごみ減量課）
2	奈坪川平松町分水堰における水害対策について 豪雨時の奈坪川平松町分水堰について、雨が降っても分水堰が機能しない場合、河川の水位上昇に伴い内水氾濫が起こるため、対応を求める。	【市長】 奈坪川平松町分水堰は西鬼怒川土地改良区が管理しているため、西鬼怒川土地改良区へ以下のとおり改めて要望を行った。 ① 水門の維持管理を徹底して行うこと ② 台風など水害の危険が予想される場合には、事前に水門を

		操作して水量を調整すること ③ 大雨などによる河川水位の上昇があった場合、早急に水門の操作を依頼したい時は地域からも直接、西鬼怒川土地改良区に連絡をすることができ、地域から連絡があった場合には、土地改良区がきちんと対応すること - 併せて、市でも、河川管理者である河川課が、河川に関する維持管理や台風など水害の危険が高まる際の点検パトロールを行っている。 - 地域の中で危険を察知した時や増水など異常があった時は、河川課まで御連絡頂ければ、水門の依頼もこちらの方で行う事ができる。 (所管課：農業企画課，河川課)
3	タクシーでの totra カード利用について - 佐藤市長が、市長選の時、宿郷5丁目のそよ風公園にて行った立会演説会で、老人を対象に、タクシーでの totra カード利用を可能にする話があったが、現時点では実現されていない。 - 今後、どのようにしていくのか。	【市長】 - タクシーでの totra カード利用を実現するには、バスの精算機と同じくらいの大きさの決済機器をタクシーに設置しなければならず、また、1台当たり約180万円かかることから、スペース的にも、費用的にも大変難しい。 - しかしながら、検討の結果、マイナンバーカードを利用するための決済機器であれば、タクシーに設置できる事がわかった。 12月から事前申し込みを開始し、来年4月からスタートするよう準備を進めている。 (所管課：高齢福祉課)
4	J Rの線路東側の教育環境の整備について J Rの線路から東側の子どもは、高校生になると99%がJ Rの線路西側の高校に通っており、そのアンバランスが問題である。	【市長】 東側にある高校は私立1校を含めて6校、西側は私立4校を含めて9校という事であり、御指摘のとおり、西側に集中している。

	・ まちづくりの観点から、少子化もあるとは思いますが、10年先20年先を見込んで、東側に高校がないという状況を改善してもらいたい。	・ 栃木県としても中高一貫教育や科学技術高校など様々なタイプの学校、多種多様な学科を設置して、高校教育の充実を図ってきたと思う。 ・ この先、少子化によって生徒数が急減していく中、再編の動きもあると思う。東西の人口分布も踏まえた良いバランスとなるよう、栃木県に伝えていきたい。 (所管課：教育企画課)
5	国道4号線の歩道橋について ・ 国土交通省所管であることは理解しつつ、国道4号線にかかる城東小入口の歩道橋に関して意見する。 ・ 当該歩道橋は設置から約50年経過しており、老朽化が進んでいる。 ・ 当該歩道橋を管轄するのは、国土交通省であり、平松交差点にある宇都宮国道事務所と話はしている。 ・ 今後、歩道橋の更なる修繕が必要になり、コストがかかってしまうため、歩道橋を撤去し、信号機と横断歩道を設置してはいかがか。 ・ 国土交通省へ意見要望書の提出をしようと思っている。 ・ 宇都宮市の区画整理と連動した方が国の方も動きやすいのではないかと思い、市と意見を交えながら、次のステップに進みたい。 ・ 市や国、県警も関わるので、意見要望書提出の際にはお力添え願う。	【市長】 ・ 御指摘のとおり、国道4号線の所管は国土交通省となり、歩道橋の設置や修繕、新設含めて国土交通省が行う。 ・ また、信号機設置については警察が行う。 ・ 個人の意見としてこの様な話があったことを、しっかりと伝えさせて頂きたいと思う。 ・ 地域でご意見をまとめていただき、地域の総意がまとまった場合には、市が関係機関との間を取り持つ事もできるので、御利用いただきたい。 (所管課：技術監理課)
6	特別養護老人ホームの役割について ・ 特別養護老人ホームは、これまで生活の場としての役割を担ってきたが、近年は認知症ケア・見取り・医療的ケア・家族ケアなど、求められる範囲が拡大している。	【市長】 ・ 特別養護老人ホームは、常に介護が必要で在宅生活が困難な方を支える重要な生活の基盤である。高齢者が増加していくなか、将来にわたって安定したサービスを提供して

・ 高齢化が進むなか、宇都宮市は特別養護老人ホームにどのような役割を期待しているか ・ また、その役割を果たすために、宇都宮市としてどのような支援が必要だと考えているか。	頂くことを期待している。 ・ 昨今、国において、介護職員の処遇改善と事業者の生産性向上のための支援等が行われている。市でも、国の介護給付に上乗せして給付を行っているほか、次の二点を中心に支援していく。 ① サービスの提供を担う介護人材の確保が重要なため、栃木県と連携し、介護職への就労・就学支援制度等の事業促進に取り組んでいる。具体的には、高校生に対して『じぶん×未来フェア』を毎年行っている。マロニエプラザで行っており、様々な職業の紹介だけでなく、実際に現場の人に来ていただき、どんな仕事なのかを体験していただくなど、介護の仕事の魅力やりがいのPRに取り組んでいる。 ② 専門性の向上と医療・介護連携の強化について、質の高いサービスが提供出来るよう、医療・介護の専門職が幅広く参加する研究会を開催し、顔の見える関係を構築しながら専門知識・技術の習得を図り、サービスの質の向上と医療と介護の連携強化に取り組んでいく。 (所管課：高齢福祉課)
--	--

◇当日意見等

No.	意見の概要	回答の概要
1	学生の勉強スペースについて ・ 二荒山神社の近くの施設に青少年スペースがあり、勉強することができるが、城東地区からは少し離れており、行きづらい。 ・ 城東地区や様々な地区に、勉強できるスペースを作ってほしい。	【市長】 ・ 交通の便が良いまちなかに「二荒テラス」というスペースを作っており、高校生・中学生 の皆さんが勉強したり、グループで研究したりする場に活用いただいているほか、様々なイベントを実施したりしている。 ・ 大変好評で、子どもにも喜んでもらっており、可能であればその他にも作っていきたい。 ・ 市内には、中央・東そして南図書館があり、そこでも学習スペースを作っている。そういった所と距離的な均衡を図りながら今後考えて行きたい。 (所管課：NCC推進課、生涯学習課、子ども政策課)
2	上下水道や公共施設の維持管理について ・ 他市で、下水道の破裂と道路の陥没があったが、宇都宮市内でそういうことはあるか。 ・ 上下水道や道路、橋、公共施設についての点検・修繕について、市としてどのように行っているか。 ・ 将来の人口減によって仕事の担い手が減り、税収も減ってしまう。財政が健全な今、子どもたちの将来も含めて10年先20年先に対して、お金を使ってほしい。	【市長】 ・ 八潮市で下水道管の破裂と道路の陥没があった翌日から、上下水道について本市独自で緊急点検を行い、陽南通りから江曾島本通りの場所に対応を要する箇所があったが、処置済であり、応急処置が必要な箇所は皆無となっている。 ・ 小・中学校は一斉に改修時期となっている。長寿命化を図り、順に校舎の改修事業を行っている。 ・ 耐震化について、小・中学校のみならず、全ての公共施設で完了している。 ・ 公共施設については、長寿命化計画の中で計画的に点検・改修を行っていく。 ・ 御指摘いただいたものが、ネットワーク型コンパクトシティという考え方である。限りある財源の中でやっていくためには、できる限り行政の効率化を図り、なるべく居住地域もコンパクトにして、その中で、管理された上水道や下水道を活用していただく。

		・ 限りある財源の中，次の世代に負担をかけない，そういうまちを作っていきたい。 (所管課：水道施設管理センター，下水道管理課，学校管理課，政策審議室)
3	石井街道・東町のアンダーパスについて ・ 県庁前通りから東西に行くアンダーパスと石井街道のアンダーパスについて通勤ラッシュ時は渋滞で西に向かうのが大変な状態である。 ・ 石井街道のアンダーパスについて，線路を潜る手前までは，用地買収が済んだような格好になっているが，実際のアンダーパスの工事の進捗状況はどうなっているのか。 ・ 市が注力している都心環状線の整備について，アンダーパスを最優先で解決していただけないか。	【市長】 ・ 県庁前通りから東西に行くアンダーパスと石井街道のアンダーパスは二つとも県所管。 ・ 石井街道のアンダーパスの二車線化について，用地買収継続中と聞いている。そこに時間がかかっていると思われる。 ・ 市の道路網については，内環状・都心環状・外環状の三環状があり，それに対して1 2放射状の道路があるのが特徴である。これを上手く使い，車の台数が多いことなど，課題解決を図っていく。 ・ 県庁前通りについて，小幡・清住土地地区画整理事業地内の東側にある釜川に架かる橋から「県庁西通り交差点」まで拡幅を行い，より良い都心環状線にしていきたい。 (所管課：技術監理課，道路建設課)

4	給付金について ・ 宮の家計応援給付金として、市民一人一人に5000円配られるということで、早速申請をして頂戴した。 ・ 宇都宮も様々な事業をして税収が上がっており、さらに税収が増えたら再度給付金を頂きたいと思うがいかがか。	【市長】 ・ 皆さんに払って頂く公共料金や税金を使い、満足して頂けるように、今までしっかりと財政運営を行ってきた。 ・ 市としても稼がないと、皆さんにそうしたサービスが提供できない。 ・ 工業団地などの企業に大いに稼いでいただいております、また、ライトラインが通ったことにより必要なくなった駐車場などの土地に、約1,100億円の新たな設備投資が完了し、来年、固定資産税を見込んでいる。雇用が生まれ、その人の消費による経済効果、給与や企業からの税収も生じる。 ・ そういったものが宇都宮を豊かにして、更に皆さんに新たなサービスが提供できるよう御理解、応援をよろしくお願いしたい。 (所管課：政策審議室，商工振興課)
---	---	--